校　報
滝呂
多治見市立滝呂小学校
たくましく豊かに伸びる滝呂の子ども
～考えつくりだす子　はげましあう子　きたえる子～
４本柱「まんぞく授業」「さきがけあいさつ」
「ピカピカそうじ」「げんきな体と心」
http://school.city.tajimi.lg.jp/takiro/
2025. 6 .30　　　第４号

熱中症にならないために

校長　鈴木　雄詞

真夏のような暑い日が続いたかと思えば、急に梅雨らしい天気に戻ったりと、ここのところの気象状況は先が読みにくくなりました。

学校では、子供たちが熱中症にならないようにいくつかの基準を設けて学習や活動をしています。「晴れているのにプールに入れない。運動場で遊べない。」ということが今後増えてくると思われますので、主な基準となる「暑さ指数（ＷＢＧＴ）」についてお話しします。

暑さ指数（WBGT（湿球黒球温度）：Wet Bulb Globe Temperature）は、熱中症を予防することを目的として 1954 年にアメリカで提案された指標です。 単位は気温と同じ摂氏度（℃）で示されますが、その値は気温とは異なります。 暑さ指数（WBGT）は人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい ①湿度、 ②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、 ③気温の３つを取り入れた指標です。

※環境省ホームページより抜粋

ＷＢＧＴが２８℃を超えると、熱中症の発症率が高くなります。よって、活動する場所が、

ＷＢＧＴ３５℃以上（熱中症特別警戒アラート）
ＷＢＧＴ３３℃以上（熱中症警戒アラート）
ＷＢＧＴ３１℃以上（多治見市ガイドライン）

のときは、運動は原則中止します。場合によっては下校を見合わせることもあります。また、プールにおいては、ＷＢＧＴのみならず、水温が３０℃を超えてくると、水につかっていても体を動かすと体温が上昇し、水の中でも熱中症になるリスクが高まるので、補水しても水温が下がらない場合は、晴れていても中止することがあります。

日常的にこまめな水分補給、帽子の着用、室内エアコンの使用をすすめていますが、毎日の気象状況にも臨機応変に対応していきたいと思います。ご家庭におかれましても、自分でできる熱中症対策についてお子さんとお話していただけると幸いです。

↑　６月７日（土）運動会　６年団体競技「「道～団結を求めて」の様子

←学校の様子はホームページからもご覧いただけます。